

小山内裏公園のクモ 春～盛夏

クモはすべて肉食性で、卵→幼体→成体の順に成長します。昆虫と違ってあしが8本あります。網をはらないクモも糸を出すことが出来ます。オス・メスほぼ同じ大きさのクモと、コガネグモ類のようにオスが極端に小さなクモがいます。また、オスとメス、成体と幼体で模様などが違ってきます。

あみをはるクモ



ギンメッキゴミグモ

銀色で、あみにごみをつけカムフラージュしています。



チュウガタコガネグモ 草むらにあみをはりますが少ないです。



オトリノフンダマシ 夜だけあみをはります。鳥のふんに似た姿で敵の目をごまかしています。



ヤマシロオニグモ 模様は個体差が大きいです。



ゴミグモ 巣にごみをつけてからだをかくしています。



マミジロハエトリ 草むらなどで小さな虫をとらえて食べます。オスは頭の前のふちが白いです。



イオウイロハシリグモ

草むらなどでくらしです。背中にすじのあるものもいます。



ハナグモ 花の上において、花にやってくる虫を食べます。



アリグモ アリに似ていますが、あしが8本あります。



ウツキコモリグモ 早春から地表を歩いています。メスは、卵の入った袋を後ろにつけて動きます。